

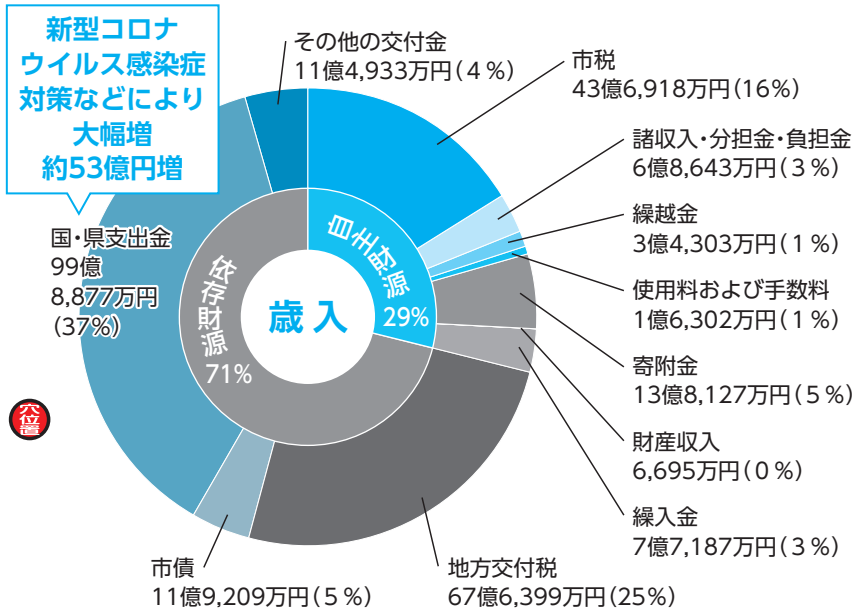
# 決算報告

令和2年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で例年より大きく違っていています。

## 普通会計 歳入の内訳

歳入総額 268億7,593万円



## 小城家の家計簿

市の普通会計を家計に置き換えました。1カ月分の家計の収入と支出を、市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

令和3年3月31日 住民基本台帳人口 44,858人

項目	収入(円)	増減率
給料(市税)	97,400	0.6% ↑
親からの援助・仕送り(国・県支出金など)	399,084	44.0% ↑
雑収入(諸収入・寄附金など)	51,221	5.2% ↓
貯金の取崩し(繰入金)	17,207	38.5% ↓
前月からの繰越金(繰越金)	7,647	63.7% ↑
新たな借入金(地方債)	26,575	52.4% ↓
合計	599,134	

を翌月へ繰り越します。

市の令和2年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみると、小城市の1カ月の収入は59万9千円となっています。

収入では、主に、親からの援助・仕送り(国庫支出金・県支出金)が増えています。これは、特別定額給付金給付事業補助金、新型コロナウイルス感染症対応

市地方創生臨時交付金が増えたことによる増額です。一方、新たな借金(地方債)が減っています。これは、天山区共同環境組合事業(建設)などの大型事業が完了したことで借入額が減ったことによる減額です。

支出では、主に、自治会費、クラブ会費など(補助費など)が増

えています。これは、特別定額給付金給付事業、公共下水道事業の増額によるものです。

一方、子どもへの仕送り(繰越金)が減っています。これは、下水道事業が特別会計から企業会計へ変更になったことにより、繰入金から補助費に変更

用語説明

《歳入》

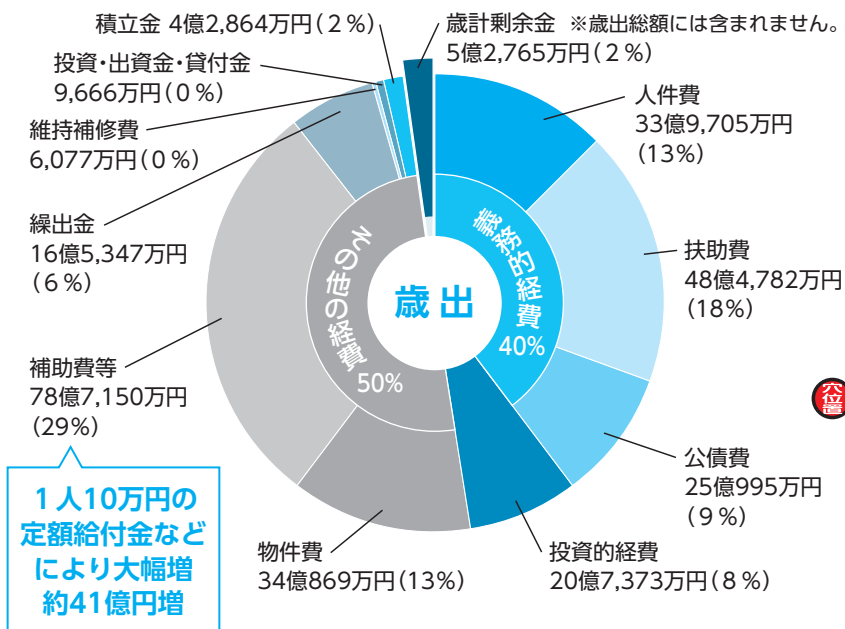
市 税	市民税や固定資産税などに納められたお金
諸収入・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ってきたお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税（所得税、法人税、酒税）の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借りた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない

《歳出》

人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借り入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰出金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません

普通会計 歳出の内訳

歳出総額 263億4,828万円



各会計の決算収支

令和2年度会計別決算

会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)
普通会計		
一般会計	276億2,246万円	270億7,126万円
特別会計		
国民健康保険特別会計	50億9,279万円	49億9,053万円
後期高齢者医療特別会計	5億7,305万円	5億6,390万円
小計	56億6,584万円	55億5,443万円
合計	332億8,830万円	326億2,569万円
公営企業会計		
病院事業会計	16億4,883万円	14億6,993万円
水道事業会計	3億2,627万円	3億5,615万円
下水道特別会計	27億8,641万円	30億744万円

※令和2年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り（繰入繰出）がなかったものとして相殺処理をしているためです。

小城家の1カ月の支出の内訳

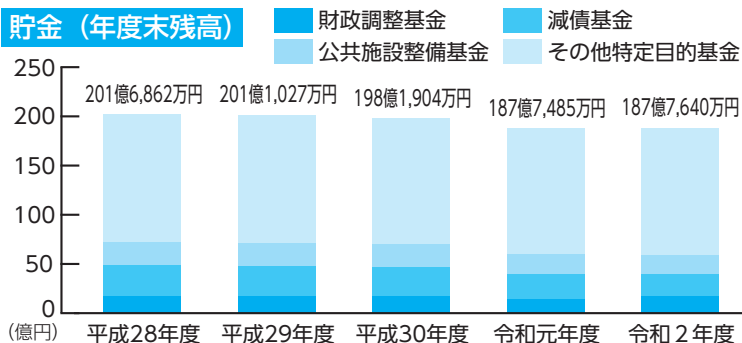
項目	支出(円)	増減率
食費（人件費）	75,729	3.0% ↑
医療費、教育費など（扶助費）	108,070	7.1% ↑
ローンの返済（公債費）	55,953	3.9% ↑
光熱水費・消耗品など（物件費）	75,988	7.5% ↓
自治会費、クラブ会費など（補助費など）	175,476	107.5% ↑
子どもへの仕送り（繰出金）	36,860	34.5% ↓
家の修繕費（維持補修費）	1,355	7.4% ↓
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,155	6.9% ↑
貯金（積立金）	9,555	471.1% ↑
家の増改築費用（投資的経費）	46,229	7.0% ↑
合計	587,370	

(収入) - (支出) の11,764円

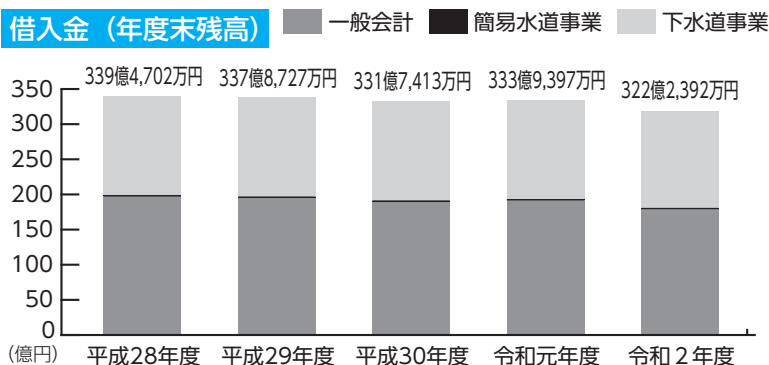


# 小城市の貯金と借入金（5年分）

## 貯金（年度末残高）



## 借入金（年度末残高）



※水道事業会計、病院事業会計は除く。



市の貯金は、187億7,640万円となり、前年度より155万円増加しました。また、借入金は前年度より11億7,005万円減り、322億2,392万円となりました。

今後、一般会計では、(仮称)小城フットボールセンターの整備事業、芦刈文化体育館の改修、給食センターの建設や、老朽化に伴う施設の更新改修などを計画しています。こうしたことから、小城市の貯金は今後減少していくことが想定されます。

六

## 令和2年度に実施した主な事業を紹介します

### 政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

#### 保健・医療の充実

健康増進課

新公立病院建設事業 2億1,135万3千円

小城市民病院と多久市立病院を統合し、誰もが安心して生命と健康を託せる温かい新病院を整備します。令和2年度は基本構想・基本計画策定や地質調査、例規作成を行いました。※2億円については、小城市病院事業基金への積立金です。

#### 健康づくりと生涯スポーツの充実

生涯学習課

体育施設管理事業 5,987万9千円

市民が生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の充実を図るため、令和2年度は2024年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技会場として決定している芦刈文化体育館の大規模改修に向け、実施設計を実施しました。

総合戦略課

(仮称)小城フットボールセンター整備事業 2,200万円

地域活性化を推進する健康・スポーツの拠点づくりとして、牛津保健福祉センターの隣接地に人口芝2面のフットボールセンターおよび駐車場などを整備します。令和2年度は建設予定地の測量調査などを実施しました。

### 政策6

#### 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

#### 学校教育、幼児教育・保育の充実

教育総務課

学校給食センター（仮称）改築事業 6,327万円

児童・生徒に安心して安全な給食を提供することを目的として、現在の給食施設を集約化した新給食センターを建設します。令和2年度は新給食センターの予定地取得や事業者選定公告を行いました。

保育幼稚園課

公立認定こども園整備事業 1億859万円

保育利用の保護者ニーズに応えるため、三日月幼稚園を認定こども園化し、令和2年度はそれに伴う改修工事を行いました。

認定こども園三日月幼稚園▶





# 指標からみる財政状況

お知らせ

	令和2年度	令和元年度
<b>経常収支比率</b> 財政の弾力性 (ゆとり)の指標	92.5%	97.9%
<b>実質公債費比率</b> 借金返済の割合	6.9%	6.2%
<b>財政力指数</b> 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.42	0.41
<b>市税徴収率</b> (現年課税分)	98.7%	99.2%

## 【経常収支比率】

用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

## 【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもので、一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。

## 【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

## 災害復旧について

**建設課** 道路橋りょう災害復旧事業 5,970万9千円

被災した道路の土砂および倒木の撤去、道路補修を行いました。また、原形復旧工事を行うための測量設計を実施しました。

**農林水産課** 林業施設災害復旧事業 6,825万2千円

被災した林業施設の原形復旧工事を行いました。また、原形復旧工事を行うための測量設計を実施しました。

**農村整備課** 農地及び農業用施設災害復旧事業 2億2,436万3千円

被災した農業用施設などの応急対策や応急仮工事を行いました。また、原形復旧を行うための測量設計を実施しました。

## 新型コロナウイルス感染症対策事業

**総務課** 特別定額給付金給付事業 45億2,300万3千円

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に伴い家計への支援を行うため、対象世帯のうち申請があった世帯に対し給付対象者1人につき10万円の特別定額給付金の給付を行いました。

**健康増進課** ★新生児特別定額給付金給付事業 1,732万4千円

国の特別定額給付金の給付対象とならない新生児の家庭を支援するため、給付対象児1人につき5万円の新生児特別定額給付金の給付を行いました。

**教育総務課** ★教育情報化推進事業 2億8,205万6千円

ICTの活用により児童・生徒の創造性を育む学びを実現するため教育情報化を推進しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、リモート授業ができる環境を整備するため、タブレットパソコンなどを購入しました。

**社会福祉課** ひとり親世帯への臨時特別給付金支給事業 6,115万円

子育てに対する負担の増加や収入の減少が見られたひとり親世帯に対し、子育て支援の充実を図るため、臨時特別給付金の給付を行いました。

**農林水産課** ★農林水産業継続応援給付金事業 1,060万円

事業収入が減少した農林水産業者などの事業継続を支援するため、小城市内の農林水産業者などに給付金の給付を行いました。

**商工観光課** ★小売店舗等復興応援券事業 9,663万9千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている事業者を支援するため、対象者1人につき2千円の小売店舗等復興応援券を発行しました。

**商工観光課** ★事業継続応援給付金事業 1億2,590万円

外出自粛や休業要請などにより売り上げが減少した市内事業者などの事業継続を支援するため、対象事業者などに給付金の給付を行いました。

★…新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当した事業です。